

環境報告書に対する委員からの質問および市の回答

No.	質問委員	ページ数	箇所詳細	質問	回答
1	嶋田委員	5	14行目	「第四次入間市地球温暖化対策実行計画」に（事務事業編）を追記したほうが良い。区域施策編と事務事業編の違いを明確にするため。	<事務事業編>を追記します。
2	嶋田委員	6	1行目	環境マネジメントシステムのところで「(EMS)」などと追記したほうが良いと思います。	(EMS)を追記します。
3	新関委員	9	指標1 家庭ごみの排出量	令和4年度では前年より100g/人/日以上減少しています。何らかの大きな要因がないとこれほどの減少にはならないので、その理由について記述が必要と思います。なお、入間市の公式サイトでは令和3年度のごみ排出量は1人1日809g となっています。この報告書の値と公式Webサイトとの数値の整合性の確認も必要と思います。	・クリーンセンターからの報告数値が、他の統計数値と混同し誤っていたことが判明しました。令和2年度の報告数値と同様の集計算出をした場合、令和3年度の数値も誤っており、正しくは「令和3年度657g」「令和4年度635g」となります。大変申し訳ございませんでした。 ・公式Webサイトの排出量はクリーンセンターに搬入された事業系廃棄物も含めた数値となりますので「家庭ごみの排出量」とは異なります。
4	坂野委員	10	【現状と課題】 4行目	生ごみ処理機器の購入補助について、単価の高い機器の申請が多かったとのことだが、どのような機器が対象か、そのうち今回は具体的にどのメーカーのどの機器の購入が多かったのか、購入一覧のデータ開示をお願いしたい。	・生ごみ処理機は補助金要綱により「生ごみを電気をを用い発熱又はかくはんして減量し、又は堆肥にする機械」と定義しておりますので、そのような機能を有する機器が対象です。 ・メーカー等は様々ありますので、特にどのメーカーが多い等の特定はしておりません。
5	牧田委員	10	【現状と課題】 4行目	生ごみ処理機器の申請について、単価の高い機器の申請が多く予算上限に達してしまったとのことですが、今後促進していくにあたり、予算増額する、補助金を一律の金額にして件数を増やすなども検討されていますか？	・令和5年度予算については、令和4年度と同額です。 ・令和6年度は予算面も含め検討中です。
6	嶋田委員	11	【現状と課題】 1行目	「現状と課題」に「ごみチャンネル」の記述がありますが、P12で説明されていますが、先に出てきた部分でも補足説明が必要なのではないのでしょうか。	補足説明を追加します。
7	坂野委員	11	【現状と課題】 4行目	資源回収登録団体の団体数が減少したとのことだが、これは団体が資源回収活動をやめたということか？やめる理由のヒアリングは行ったのか？	・廃止届に、辞める理由の記入欄が無いため詳細は不明ですが、少子化による子供会の減少や高齢化による担い手の不足に加え、新型コロナウイルス感染症により活動を中止したことによるものであると推察します。 ・団体に対するヒアリングは実施していません。

No.	質問委員	ページ数	箇所詳細	質問	回答
8	坂野委員	12	【具体的取組】 ・ごみ分別アプリの活用	英語版ごみ分別アプリを導入したとのことだが、なぜ英語版なのか、市内話者人口など何か根拠があるのか。また、英語版のダウンロード件数は現状何件か。	・一般的に世界共通言語として認識されている英語に対応したものです。 ・スマートフォンを英語表示に切り替えた場合に、アプリが英語で表示される仕組みです。英語版のアプリが別に用意されているわけではございませんので件数の把握はできません。なお、アプリの仕様上、英語に切り替えて利用している件数の把握はできません。
9	坂野委員	13	【その他の取組】 ・官民連携によるペットボトル水平リサイクルの協定締結	ペットボトル回収についてはどの事業者を通じてサントリーへ納品されるのか。その他今年度の回収・処理契約事業者一覧情報を開示いただきたい。	・サントリーが指名する業者へ売払い、水平リサイクルを行っています。 ・契約業者等については、個別に対応いたします。
10	嶋田委員	13	指標14 次期最終処分場の建設に向けた検討・計画の策定	最終処分場建設をあきらめ、委託化することにしたとの事ですが、必ずしもその判断は「悪化」とは言えないのではないのでしょうか。「現状維持」とするか、または、別の選択肢(再検討など)を設けても良いのではないのでしょうか。	最終処分場建設に向けての進捗として悪化と判断しました。ただし、施策としては、脱焼却、脱埋立てを掲げており、単純に悪化として評価することが適切でないと思われますので、ご意見のとおり現状維持とします。
11	新関委員	14	【現状と課題】 【具体的取組】 ・新たな最終処分場の建設に向けた検討	次期最終処分場についての方針変更に伴い、最終処分場がいつまで使えるのか、また、委託によるコストについて説明がほしい。	・現処分場は令和10年度で埋立が完了となる見込みです。 ・委託費用は15年間で約22億円と試算しております(年間約1億4600万円)。本文にコストの説明を入れる予定はありません。
12	坂野委員	14	【現状と課題】 【具体的取組】 ・新たな最終処分場の建設に向けた検討	最終処分場を新設しない判断について、検討の経緯(会議体、参加者、意思決定プロセス)などの情報は公開されているか。	部内での検討及び庁内協議を経て、決裁にて決定しております。公開はしていませんが、決裁は情報公開制度の対象となっています。
13	新関委員	15	【具体的取組】 ・住宅用省エネルギー設備を設置する市民への補助	住宅用省エネ設備補助金の令和4年度予算額がいくらか、余った予算は有効に使われたか、といった記述がほしい。V2Hのことばの説明がほしい。	・予算額300万円に対して、歳出は30万円でした。残額は、次年度の一般財源として活用されています。 ・V2Hについては説明を追記します。
14	坂野委員	16	【具体的取組】 ・住宅用省エネルギー設備を設置する市民への補助	太陽光をはじめ補助対象とした各設備について、市内の設置ポテンシャルの調査データがあれば開示いただきたい。	太陽光発電設備の導入ポテンシャルについては、環境省が提供しているREPOS自治体再エネ情報カルテを参考としています。 データの詳細は別添(資料3-1)のとおり。

No.	質問委員	ページ数	箇所詳細	質問	回答
15	坂野委員	17	【その他の取組】 サステナブルウォークいる まいるの実施	令和5年2月19日に共催した交換会について、経済産業省の事業なのであればどのような事業なのか？	アプリSPOBY(スポビー)の導入については、経済産業省の「FORWARD」という事業によるものです。 「FORWARD」は、イノベーションの社会実装に向けた地域成長産業共創事業の一環としてスタートアップを募集する事業であり、入間市では、「市民・事業者との共創によるゼロカーボンシティの実現」をテーマとしました。 2月19日のイベントでは、SPOBY(スポビー)の特典交換会とあわせて、経済産業省関東経済産業局との共催により、「脱炭素社会の実現」「健康増進」「地域経済の活性化」を図る入間市の未来像について共有するワークショップを行いました。
16	新関委員	17	指標18 土砂災害区域に対する警戒 避難マップ作成地区数	気候変動への適応として、土砂災害への対策はもちろん、暴風雨・洪水対策のさらなる進展が望まれる。指標18をより総合的な指標内容になるよう検討できるとよいと思う。	暴風雨及び洪水等については、令和元年東日本台風における災害対応の課題を受け、情報通信網の充実や避難所開設体制の整備に注力しています。環境基本計画の令和6年度中間見直し時点で、暴風雨及び洪水対策を含めた指標にできるよう検討いたします。
17	嶋田委員	17	指標18、20	いずれの指標もR4年度評価が☆となっています。しかし、同じ箇所数が基準となっているものの、指標18は目標が具体的な数値である「5」、指標20は「維持」となっていて、その違いがよく分かりません。避難マップの方は毎年5ヶ所追加で作成するという事なののでしょうか。そのあたりが分かるように記述したほうが良いかと思います。	・追加ではなく、同じ5地区分を毎年配布しています。 ・記載の違いについては、中間見直しで表現を検討します。
18	嶋田委員	20	【現状と課題】 4行目	「自然かんさつ会」とありますが、「自然観察会」で良いのではないのでしょうか。	ひらがな表記のイベント名称になっているため、固有名詞として「自然かんさつ会」としています。
19	嶋田委員	21	2 水環境の保全 2行目	「気候の緩和」という表現がありますが、少し幅広すぎるのではないのでしょうか。想定しているのは暑さの緩和だと思いますが、だとしたら「暑熱環境の緩和」や「暑さの緩和」としたほうが良いと思います。	基本計画の抜粋になるため、中間見直しの際に検討します。
20	嶋田委員	22	【具体的取組】 ・河川周辺の自然環境の保全	保全地として2箇所が挙げられていますが、この場所は公有地化し保全しているのでしょうか。もし、公有地化しているのなら、公有地化していることを書き込んだほうが良いと思います。	・「谷田の泉周辺保全地」13,282 m <sup>2</sup> は県と市で公有地化し保全しています。「ホタルの里」1,379 m <sup>2</sup> は借地契約し保全しています。 ・公有地化についてわかるよう報告書の記載方法を検討します。
21	嶋田委員	23	指標31 雨水浸透ますの累計補助件数	指標は累計になっていますが、R6年目標が38であることを考えると、単年度で見ると増加する必要があるわけですが、実際にはゼロ件です。これを横ばいと捉えることには違和感があります。指標21の評価と比べると特に明確になります。スミマセン、修正案があるわけではありませんが、一定の理屈は必要かと思います。	計画では、目標が38件(5件／年)と記載されているので、年度ごとの件数により評価とする形に改めます。

No.	質問委員	ページ数	箇所詳細	質問	回答
22	坂野委員	23	【具体的取組】 施設の緑化の推進	職員研修や通知で施設緑化の周知・啓発とあるが、具体的な実施内容を開示されたい。	毎年5月に、職員に向けて夏季に向けた取組の通知を行っており、その中で、グリーンカーテン等の緑化推進について周知をしています。 また、新規採用職員研修において、二酸化炭素吸収源として緑化が必要であることと合わせて施設緑化の話をし、意識啓発を行っています。
23	坂野委員	24	3 畑の保全・活用	産業振興部署とのすみわけや連携はどのように行っているのか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・24ページの「農産物のブランド化、プロモーションによる農業生産の振興」に箇条書きで挙げられている事業は農業振興課が実施しています。</li> <li>・茶畑テラス「茶の輪」事業については、商工観光課が企画・実施し、茶畑を観光資源ととらえ農産物を含めた入間市の魅力をPRすることで、間接的に畑の保全・活用につながっています。</li> <li>・すみわけとしては、名産品をお土産や観光資源として活用することは商工観光課が行います。地産地消の推進や市内農畜産物の販売促進、畑を農業として活用する取り組みは農業振興課が行います。</li> <li>・連携は、各事業で必要に応じて協力しています。</li> </ul>
24	嶋田委員	24	指標の単位	ここだけに限らないのですが、各指標が単年度に増加した面積なのか、累積なのかが明示されていない部分があります。指標34は累積だと思いますが、指標の名称を変えることが出来ないなら、単位を「累積ha」などとしたほうが良いのではないのでしょうか。 指標6, 9, 17, 18, 20, 22, 23, 28なども同様です	表現が統一できていないため、計画の目標値の単位については、中間見直しに合わせて検討します。 また、環境報告書においても、わかりやすい表現となるよう記載方法の修正について検討します。
25	牧田委員	24	【具体的取組】 農地の利用集積のための 農地中間管理事業の実施	この取り組みは、市民農園の増加には繋がるのでしょうか？ (質問が筋違いでしたらすみません)	・市民農園の増加に関係するものではありません。市民農園は農家ではない一般市民向けのものであり、農地中間管理事業は農家の方が効率的・安定的に農産物を生産するために農業生産の基礎となる土地(農地)を農業の担い手へ集積・集約化を図る制度です。
26	嶋田委員	25	指標の単位	上記の指摘と逆に、単位が「回」「ヶ月」となっていますが、これは、「回/年」「ヶ月/年」とすべきではないのでしょうか	表現が統一できていないため、計画の目標値については、中間見直しに合わせて検討します。 環境報告書においては、ha(累計)や、回/年のようなわかりやすい記載方法への修正を検討します。
27	新関委員	25	指標36 給食における地場農産物の 使用月数	給食での地場農産物の使用月数は1日でも提供した場合達成となるのかどうか知りたい。実績値が12か月に達したのであれば、さらなる改善を目指して指標を変えることを検討するかどうか知りたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日でも地場農産物を給食で提供していれば達成としています。</li> <li>・令和4年度の実績値が12か月を達成したため、今後もさらなる改善を目指し、品目数や重量等での指標の設定も検討していきたいと考えています。</li> </ul>
28	坂野委員	25	指標36 給食における地場農産物の 使用月数	地場農産物の使用月数が指標だが、具体的に使用された農産物の品目と使用割合を開示されたい。	令和4年度は、人参、じゃがいも、玉ねぎ、とうもろこし、里芋、大根、ごぼう、長ねぎ、白菜、うどん、豚肉、せん茶パウダーを使用しました。(資料3-2参照) 使用割合について、給食センターが稼働した187日のうち地場産物提供日数は128日(68%)でした。(資料3-3参照) ※小学校については集計が難しいため、上記回答は給食センターにおける使用品目と使用割合としています。

No.	質問委員	ページ数	箇所詳細	質問	回答
29	嶋田委員	26	4 生物多様性の確保	「輸入といった取扱いを規制しています」とありますが、もっと厳しい表現でも良いのではないのでしょうか。 具体的には「～輸入が原則禁止されています」	基本計画の抜粋になるため、中間見直しの際に検討します。
30	坂野委員	26-27	指標38 外来種(アライグマ)の捕獲 指標39 外来種(コクチバス)の捕獲	捕獲後はどうしているのか。	生態系や人の生命、農林水産物への被害を防止する為、特定外来生物の防除が必要であり、捕獲した個体は殺処分を行っています。 ・アライグマ 市内のアライグマ殺処分受入診療機関【県登録】(獣医師)に連れて行き、安楽死の処置を行います。その後、総合クリーンセンターへ搬入し、焼却処分します。 ・コクチバス 入間漁業協同組合により地中埋塞を行っています。
31	新関委員	29	【現状と課題】 2行目	【現状と課題】の中に、保護樹林・市民の森の減少していることの記述が必要と思われる。	【現状と課題】以下のとおり追記します。なお、市民の森は制度見直しにより面積が増加しましたが、保護樹林の減少面積が大きいため全体として「減少」と表記しています。 変更前:保護樹林の面積は減少しました。 変更後:保護樹林・市民の森のうち、保護樹林の面積は減少しました。
32	嶋田委員	30	【具体的取組】 ・公園不足区域での公園の整備	「サウンディング調査」とありますが、一般的な用語でしょうか。言い換えるか、用語説明が必要かと思います。	以下のとおり表現を変更します。 変更前:パークPFI制度を用いた公園整備のサウンディング調査を実施する予定です。 変更後:パークPFI制度を用いた公園整備を行うことについて、民間事業者との意見交換等を通し、事業に対して様々なアイデアや意見を把握する、「サウンディング調査」を実施する予定です。
33	新関委員	30	指標47 駅周辺における自転車駐輪場の整備	自転車のシェアリングサービスの導入について市として支援を検討されているかどうか知りたい。	自転車のシェアリングサービスについては、自転車活用の課題と考えており、導入の可能性や効果について現在、調査・研究を行っています。
34	坂野委員	39	【具体的取組】 ・環境市民講座等の学習機会の充実	具体的な講座等の内容一覧を情報提供いただきたい。	昨年環境市民講座については、別添資料3-4のとおりです。
35	嶋田委員	39	【具体的取組】 ・環境市民講座等の学習機会の充実	「環境とコーヒーについての講座を合計8回実施」だと環境＆コーヒーの講座を8回行ったと解釈されてしまうと思います。 「「環境とコーヒー」の講座など、環境講座を合計8回実施」としたほうが良いのではないのでしょうか。	ご意見のとおり、表現について検討します。

No.	質問委員	ページ数	箇所詳細	質問	回答
36	坂野委員	40	【具体的取組】 ・環境市民講座等の学習機 会の充実	今後は温暖化対策についての市民向けの説明会や講座を中心に実施とのこ とだが、これまでと具体的に何を变えるのか？	環境市民講座では、市民をアドバイザーとして登録し、公民館等の依頼に応じ て市民を講師として講座を実施していましたが、令和5年度からは、市職員が 説明を行う出前講座や、市のイベント等による周知を中心に環境学習の機会 を提供していきます。
37	坂野委員	40	【具体的取組】 ・博学連携事業による「入間 市の環境」に関する授業等	授業実施の学校数は全体の何割で、対象学年は何年生か。実施校と不実施校 の差や、実施校の関心理由等は何か。	・市内小中学校の100%が授業実施しており、対象学年は小学3・6年生、中 学2年生です。 ・事業の形態は、博物館を活用した学校授業、博物館学芸員が直接学校へ 行っている出前授業、博物館と学校を繋げて行うオンライン授業があります。 学校の関心は主に地域の環境や歴史、人々の暮らし等です。
38	坂野委員	41	【具体的取組】 ・ごみ減量推進地区説明会 の開催	全何回実施し、何人の市民が参加したのか。	実施回数、参加者数については次のとおりです。 令和4年度 11回実施 参加者数187名 令和5年度 12回実施予定(既実施回数9回) 参加者数182名(10月20 日時点)
39	嶋田委員	43	【具体的取組】 ・自然かんさつ会の開催	「自然観察会」でよいのでは	イベント名なので、そのままとします。
40	坂野委員	44	【具体的取組】 ・リサイクルフェア、あおぞら フリーマーケットの実施につ いて	リサイクルプラザ再生品のジモティ掲載件数、実際の引き取り件数はそれぞ れ何件か。	掲載件数、引き取り件数は次のとおりです。 掲載件数 84件 引取り件数 72件
41	坂野委員	45	【具体的取組】 ・加治丘陵山林ボランティア 等の支援	山林ボランティアについて、参加年代等の属性情報を開示いただきたい。過 去の進捗に対する意見においても、高齢化の課題への指摘もあったため現 状を把握したい。	加治丘陵山林管理ボランティア団体の年齢構成は別紙資料3-5のとおりで す。 ※ボランティア参加者の障害保険加入を目的とする名簿を参照しており、 NPO法人加治丘陵山林管理グループを除く11団体の令和4年度末の構成 情報です。
42	嶋田委員	48	3-2 結果・解説	29,723t-CO <sub>2</sub> は目標値であり、R4年の排出量は24,217 t-CO <sub>2</sub> だと思 います	記載間違いです。修正いたします。
43	坂野委員	51	③その他	令和4年度の廃プラスチックの焼却量が大きく減少した理由は何か？	廃プラスチックの焼却量は令和2年度に急増し、そこから減少していることか ら、コロナ禍による生活様式の変更によりプラスチック製可燃ごみ等が一時的 に増加したことが考えられます。また、数値の根拠となる組成調査につい ては年4回の実施であり、サンプル抽出の性質上、測定誤差の影響が考えら れます。

No.	質問委員	ページ数	箇所詳細	質問	回答
44	平塚委員		全般	ゴミの量やCO <sub>2</sub> 排出量が該当しますが、人口増減により影響を受けます。したがって、人口1人あたりにすると分かりやすいと考えます。ただし、人口構成(年齢別等)も変化があるので、数字の示し方には留意が必要になります。以上を踏まえれば、入間市における人口増減率だけでも冒頭で記し、ゴミの量やCO <sub>2</sub> 排出量には影響していることを伝えた方が良いと考えます。市役所のホームページで確認する限り、令和2年4月から令和5年10月までで約2%の人口減です。	評価に影響を与える要因として、環境報告書への追記を検討します。
45	増田委員		全般	前回審議会において、今年3月策定の実行計画に区域編・事務事業編を内包されていること、事務事業編はこれまで環境報告書で進捗管理していたが今後は実行計画として行う(区域編とあわせて)とのことでした。事務事業編は来年から本報告書の外で評価するという意味でしょうか？	今後も環境報告書の中で報告・評価する予定です。
46	増田委員		全般	SDGs都市にも選定されていらっしゃると思いますが、SDGsの各目標と環境政策は関係しているかと思います。本報告書自体へのコメントではありませんが、来年以降に向けてSDGs未来都市計画や総合計画と環境基本計画の関係性がより分かる形になると良いのではないかと思います。	SDGs未来都市計画や埼玉版スーパージョイントプロジェクト、入間市温暖化対策実行計画など、新たに策定された計画や構想がありますので、中間見直しの際にこれらも踏まえて検討します。
47	増田委員		全般	今後、各種指標は実行計画(今年3月改定)と併せてアップデートされるご予定でしょうか？	指標のアップデートにつきましても、中間見直しの際に検討します。
48	嶋田委員		評価表全体	R5、R6が空白となっています。計画見直しまでの期間を表にしているのだと思いますが、どこかにその様な意図であることを明記したほうが良いのではないかと思います。あるいは、あえてR5、R6を掲載する必要は無いかもしれません。	令和6年度までの表としていることについて、説明の追記を検討します。
49	嶋田委員		評価表全体	数値目標が設定されている指標については「以下」の指標は「以下」と明示されていますが、「以上」の指標は明示されていません。「以上」も明示したほうがわかりやすいのではないのでしょうか。	記載がないものについては、数を増やすことが目標のものと実質的に現状維持が目標となっているものが混在しています。いずれも「以上」と考えて問題ありませんが、中間見直しの際に改めて検討します。